

せーの！

第56回(2017)全国保育問題研究集会



愛知集会実行委員会

ニュース No.6

2017年4月発行

参加申し込み

一次締め切り

4月28日(金曜日)

みなさん、今、申し込みましょう！

締め切りせまる

いよいよ愛知集会まで2ヶ月を切りました。参加申し込みの一次締め切り日が迫っています。一次締め切りを過ぎますと参加費が500円上がってしまいます。みなさま、お急ぎください。



ホームページアドレス
全国保育問題研究協議会
zenhomon.jp

新美南吉(にいみなんきち)

1913~1943

愛知県半田市生まれの児童文学作家。雑誌「赤い鳥」の作家のひとり。作品「ごんぎつね」「手袋を買いに」など★写真出典(新美南吉記念館ホームページ)



1日目 歓迎行事

合唱オペラ

「ごんぎつね」

ごんぎつね合唱団2017による保育問題研究集会バージョンの合唱オペラ！新美南吉生誕九十年、生誕百年で合唱オペラ「ごんぎつね」を演奏したメンバーを中心に新美南吉の世界を表現します。



歌とお話の時間

歌とお話の会は、南吉生誕九〇年となる平成十五年にあった南吉を偲ぶ会で意気投合した小野敬子と左近治樹が、南吉を広めるライブ活動をしたいと結成されました。

新美南吉幼年童話や詩からお話を選び、それをイメージする曲を左近が作曲して、お話しと歌を交互に披露しています。

- ① でんでんむし
- ② かたつむりのうた
- ③ でんでんむしのかなしみ

オープニング練習



みんなで
踊りましょう！

本番まであと2か月となりました。東海3県を流れる3つの大きな川（木曾川・揖斐川・長良川）をイメージした演出や誰もが一度は触れたことのあるだるうお手玉を使った演出など、少しずつオープニングが形となってきました。そして、メインとなる郡上踊りは「見るおどり」ではなく「踊るおどり」と言われています。会場にいる人皆さんも踊り手として、一緒に楽しみましょう！

特別講座⑤

夢と希望を持ち、人として生きることを考える ～見晴台学園大学に学び、育ちあう発達・知的障害を持つ青年と教師の話～

見晴台学園大学で学ぶ発達・知的障がいをもつ青年たちが、「なぜ、見晴台学園大学で学ぼうと思ったか」「大学でどんな事を学んでいるか」「学生生活について」を、教員からは大学の全体像や、教員から見た学生の様子などについて話します。さらに、卒業したOBが「卒業後の生活」や「いまだからこそ言える大学での学び」について語ります。見晴台学園大学で発達・成長を遂げる青年たちの姿は人間に対するかぎりない信頼と学びの大切さと可能性に対する確信をもたらすでしょう。参加者のみなさんから、直接、学生にいろいろと質問していただくなど交流を深めたいと思います。

特別講座⑥

歌とお話で綴る新美南吉の世界 ～『ごんぎつね』の里を感じて～

*新美南吉童話の魅力と作品舞台について

*ストーリーテリングと歌

「手袋を買いに」

*ストーリーテリングと歌

幼年童話より「木の祭り」「飴だま」等講師は歓迎行事の小野敬子さん、左近治樹さんをはじめ、新美南吉記念館で〈歌とお話の会〉を実施されている方々です♪

コラム

「三重の美味しいもの」

今回は、愛知県のお隣三重県から、美味しいものの情報をお届けします。

名古屋から電車で20分ほどの距離にある、三重県桑名市は「はまぐり」で有名な地域です。ちょうど、全国集会

の開催される6月は、一年を通して一番「はまぐり」が美味しい時期です。この時期の「はまぐり」は、身が大きくぷつくりで、焼きでも鍋でも最高！

はまぐり鍋、焼きはまぐり、はまぐりラーメンなど、様々なメニューがありますので、ぜひ三重県へも足を伸ばしてみてくださいいかがでしょうか。

